



平成 29 年 1 月 31 日

各 位

会 社 名 新光電気工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 清水 満 晴
コード番号 6967 東証第 1 部
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長
清野 貴博
TEL(026) 283-1000 (代)

当社の親会社 富士通株式会社
代表者名 代表取締役社長 田中 達也
コード番号 6702 東証、名証各第 1 部

業績予想の修正に関するお知らせ

業績予想の修正につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 28 年 10 月 21 日発表)	百万円 138,800	百万円 2,800	百万円 900	百万円 1,200	円 銭 8.88
今回修正予想 (B)	137,600	1,200	1,700	1,700	12.58
増減額 (B-A)	△1,200	△1,600	800	500	—
増減率 (%)	△0.9	△57.1	88.9	41.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	143,453	9,422	10,135	3,476	25.74

2. 修正の理由

第 3 四半期において為替相場が円安・ドル高傾向に転じたことによる為替差益の発生等が寄与し、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、想定を上回る水準で推移しております。

一方、第 3 四半期まで好調に推移したハイエンドスマートフォン等向けの IC 組立は、第 4 四半期において、スマートフォン市場の需要変動や製品価格低下等を背景に、売上高の減少および収益の低下を見込んでおります。また、フリップチップタイプパッケージについては、第 3 四半期において売上高は直近の予想値ベースで推移したものの、パソコン市場の低迷継続により、第 4 四半期においては売上高の減少および採算の悪化が見込まれるなど、今後、売上・収益ともに、厳しい市場環境が続くことが想定されます。

つきましては、平成 28 年 10 月 21 日に発表いたしました平成 29 年 3 月期通期の連結業績予想数値を修正いたします。

なお、通期業績予想の前提となる第 4 四半期の為替レートは、1 米ドル=110 円を想定しております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上